

環境部における「信州の山 新世紀元年」の取組について

自然保護課

1 趣 旨

長野県では、「信州 山の日」の制定を機に、平成 26 年度を「信州の山 新世紀元年」に位置付け、「五感で感じる山」「世界水準の山岳高原観光地」「美しく安全な山」をテーマに「山」に関する様々な取組を展開する。

その一環として、環境部においても「山」に関係した取組を積極的に展開していくこととしているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

2 主な取組

五感で感じる山

○ 自然保護センターの整備・運営（予算額 1,222 万円）

県下 4 箇所を設置している自然保護センターにおいて、自然公園の適正な保護と利用を図るため、「山の日」の制定趣旨も含めて啓発と情報発信を行う。

また、1 年を通して、ガイドウォークなど自然に親しめる活動を実施する。

美しく安全な山

○ 自然公園の魅力を伝える事業の実施（予算額 744 万 7 千円）

平成 26 年度は 4 つの自然公園が節目の年を迎え、エコパーク、ジオパークなどの取組も盛り上がりを見せていることから、自然公園の魅力と保全を考える契機とするため、各種の大会を開催・支援する。

・ 自然公園魅力発信大会（仮称）（10 月中旬）

（中部山岳国立公園指定 80 周年記念、八ヶ岳中信高原国定公園指定 50 周年記念、塩嶺王城県立公園指定 50 周年記念）

・ 南アルプス国立公園指定 50 周年記念式典（5 月 24 日）

・ ユネスコエコパーク全国サミット in 志賀高原（9 月 19 日～20 日）

・ 日本ジオパーク南アルプス大会（9 月 27 日～30 日）

○ 民間との協働による山岳環境保全（予算額 7,835 万 9 千円）

自然公園の施設等や登山道の整備を効果的に推進し、民間企業の寄付金なども活用しながら、山岳関係者による協働事業を推進する。

また、長野県の山岳環境保全と適正利用の在り方について検討と合意形成を図るため、「山岳環境連絡会」を開催する。